

## ニチイキッズかみよしだ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。  
また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～2月5日（月）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年 2月 28日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	コロナ禍では規制されていた行事や活動が再開し公開することにより、保護者と保育者との距離感が縮まり、よりよいコミュニケーションをとれ、子どもたちへの『思いきり遊び・おもいきり学ぶ』という理念に沿った保育がより充実した。
子どもの発達援助	成長に合わせた手作り玩具や好きな遊びコーナーを作り、実現出来るように努めた。また、食育を通して、『見て・触れて・味わう』等の五感をくすぐるような体験を用意して、給食では自ら食べたいような食に対する興味を高めることが出来た。
保護者に対する支援	日々の保育の中で、野菜を育て、生命の尊さを肌で感じることで、自然と食べ物への愛着が育まれた姿等心の成長をお伝えして共有することで、達成感や喜びを親子で共感出来た。離乳食の移行時期には相談を重ね、無理の無いようにスムーズに移行することが出来た。子育てのふとした疑問や悩みにもすぐに対応していけるように保護者様の言葉を大切にしていた。
保育を支える組織的基盤	保育士と共に栄養士や調理師が共通意識を持って保育や食育を行う事により、子どもの個性に合わせた環境設定や配慮を行い、研修を通して知識を深め、より細やかな保育を行う事が出来た。

総評
行事の公開により、保育を身近に感じてもらえる機会が増え、保護者様にとって子どもの成長をよりリアルに感じ取る貴重な時間となった。「良かった」という沢山の感想を頂き、御理解と御協力の未実現することの重要性を感じる事ができた。今後も、家庭での悩みや不安を取り除き、必要とされる保育を実現する為に、自己研鑽に励み、安心安全な保育行っていきたいと考える。